

神秘の洞窟「ブルーホール」

03B4202 五十嵐 誠

はじめに

バハマからユカタン半島にかけて広がる海には、何百もの海底洞窟が点在する。中でもベリーズの海岸近く、ライトハウスリーフにある「ブルーホール」は直径318m、深さ125mと巨大な様相を呈している。本稿ではこの巨大な海底洞窟の謎に迫る。

ブルーホールの謎

空から眺めると、ブルーホールは白い砂と珊瑚の輪に囲まれた巨大な黒い円盤のようである。ブルーホールのなかには鍾乳石が残されており、ここは以前は陸上にあったことを物語っている。つまり洞窟が更新世の海水準が低い時に形成されていたことが推察されている。現在は、塩水と淡水の境界や、つながった穴の間の強い潮汐流など、海の溶食によって変形される。

底からはカルスト湧泉が湧き出しており、様々な生物の住処ともなっているようである。また、スキューバダイビングの観光名所ともなっている。



図1 周辺図



図2 ブルーホール

参考文献

Newton Press(2002)：『Newton 別冊 改訂版 地球ミステリアス紀行 奇跡の惑星の素顔』．ニュートンプレス．

ベリーズ観光局 HP <http://www.travelbelize.org/bh.html>